

# 森林と人とのなげたい 通信 森倶楽部 21

2024年4月 第255号

私たちは、里山の自然に触れ、その地域の暮らしに学ぶ活動をしています。  
長野県安曇野市の長峰山が主な活動場所です。  
里山はたくさんの生きもののよりどころです。  
たくさんの人と、この豊かな自然を分かち合い、  
未来に引き継いでいくことが願いです！

## 活動から

### 《年会報「森に学ぶ」第26号発行》

日時：3月4日（月）13:00～16:20 天気：晴れ 【森に学ぶ活動】

参加者：会員9名

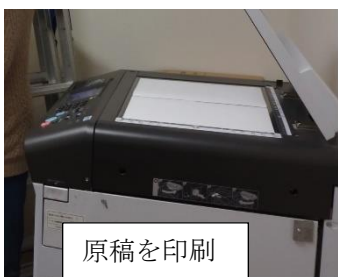
活動場所：松本市庄内地区公民館

活動内容：年会報「森に学ぶ」の発行作業

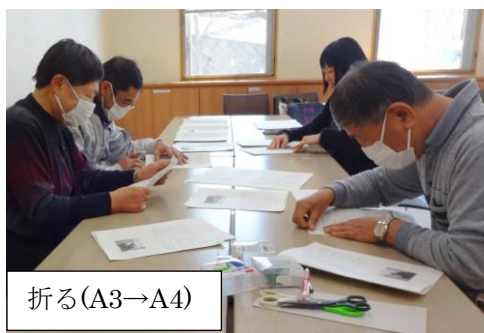
森に学ぶチームはひとりを除き、普段活動に参加できない面々で構成するグループなので、年一度の顔合わせの機会である。月曜日の活動で助っ人が集まりにくいのが、発行作業の傍ら、長峰山の現況や活動模様を参加者から直に耳にすることができる絶好の機会でもある。

高齢化は我がチームも例外でなく、あれば便利だった小道具の数々が「何だったけ？」の世界で、メモしておかねば、、、が数々誕生する。要（かなめ）の印刷は最初つまずいたが、ほぼ順調に進み、午後3時頃には34ページの冊子が38部出来上がった。ご苦労様！さぁ、お茶です。

皆で積もる話をしながら一服したあと、残ったチーム員で来年度の活動方針を決め、解散した。



原稿を印刷



折る(A3→A4)



ページを順に重ねる



ページの確認



ホチキスで綴じる



ホチキス針の始末



背表紙にテープを貼る



完成！！



お疲れさまでした

## 《春植物自生地にシカ柵を設置し、食害から守る》

日 時：3月5日（日）9:30～12:00 天気：曇り 【絆・蝶の森活動】

参加者：会員6名

活動場所：絆の森水田跡地

活動内容：春植物自生地にシカ柵設置

2月下旬から度々の降雪により活動場所は雪に覆われていたが、この日を逃すと機会がとれないであろうと、作業にかかった。

2月13日にタケを切り出し、長さ1.3mの竹棒を製作した。竹の本数はおよそ310本。それを絆の森の春植物自生地に運び、自生エリアの外周に設置し、そこにピンクテープも張った。とりあえず雪解けで植物が芽を出したとしても、シカは警戒して入ってこないだろうと考えている。

現地には積雪があったこと、枝付きの竹棒が先日積もった雪の下になってしまい今回持ち出せなかったことから、エリアの内部については3月末に補足する予定である。



準備した竹棒



竹棒を20cm程差し込む



竹棒とピンクテープによるシカ柵

## 《活動地巡検》

日 時：3月24日（日）9:30～12:20 天気：晴れ 【絆・蝶の森活動】

参加者：会員5名

活動場所：絆の森、蝶の森

活動内容：来年度の作業のための現地踏査等



里はフォグランプが必要なくらい濃い霧であったが、長峰山へ上るにつれ青空が見えてきて、山頂からは雲海とアルプスの山々が見渡せる素晴らしい眺めであった。

そんな天気の中、活動地を回り樹木札、案内札の補修箇所、追加箇所の確認、遊歩道の倒木等の確認のほか今後の活動の進め方を検討しながら歩いた。



玉切りされた伐採木

蝶の森は、安曇野市により松枯れ木の伐倒処理が冬の間に行われていた。伐採木は何カ所かにまとめられていたが、これらの木を展望ベンチや遊歩道境界用などとして有効利用したらどうか等の話が出た。他にも課題がいくつか見つかった。



春先の大雪と強風で倒木が多く発生しているのので、今後も危険箇所がないか注意深く見て回る必要があるようだ。



交換が必要な古い樹木札

植樹地Aはまだ雪が積もっていたが、オオムラサキ越冬幼虫調査を予定している4月2日までには完全に解けているであろう。



雪が残る植樹地A

並行して、天平自然園と水田跡地に設置してあるセンサーカメラの作動状況を確認し、電池の交換を行った。どちらにもニホンジカが写っていた。

いた。

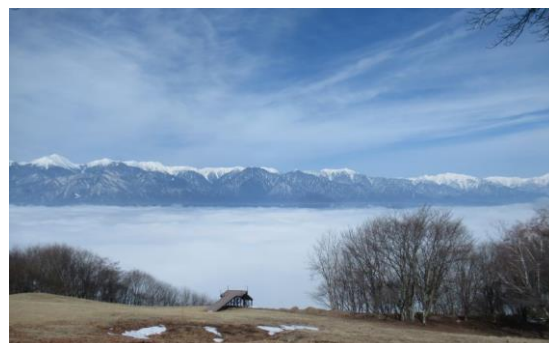
3月5日に設置したシカ除けの竹柵には破損箇所はなく、まだ積雪がありシカの足跡が柵の外には見られたが、柵の中にはなかったのので今のところ効果は出ていると思われた。念のためシカの入りやすい箇所を補強した。



カメラの確認と電池交換



シカ柵の補強





## 《長峰山山頂整備の伐採で出た材の有効活用》 【森林整備活動】

長峰山山頂で活動をしている、パラグライダーとハングライダーの団体の要請により、長峰山山頂からの滑走路とランチャー台付近の整備が冬の間に安曇野市により行われた。

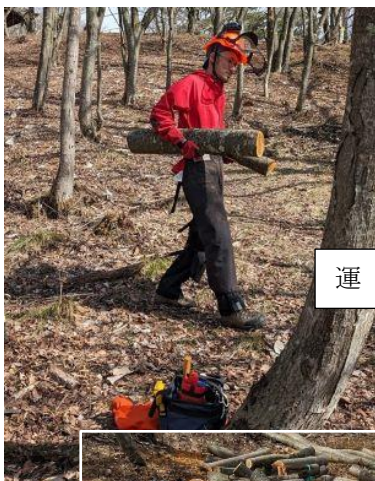
整備に際し、山頂草原の東側の木の伐採を安曇野市が行い、伐採した木は材として、森倶楽部21が活用し、伐採後の林床整備を行うこととなった。そのため“林産物活用”として森林整備チームが処理を進めている。

伐採後降雪があったため、雪に埋もれている材を掘り起こしつつ、きのこのホダ木の40本(1.3m)を確保し、登山道横に積み雪が解けたら早めに運び出す予定である。

また、雪に四苦八苦しながらの薪づくり、薪出しと共に伐採木の枝葉の片付けなど林床の整備を行った。3月中は4日間の活動を行ったが、来月も継続して行う予定である。

### 活動した日

日	時：3月10日（日）9:00～12:00	天気：晴れ	参加者：会員4名
	3月17日（日）14:00～15:00	曇り	会員4名
	3月24日（日）13:15～14:30	晴れ	会員4名
	3月31日（日）14:00～16:00	晴れ	会員4名



一時置き場



## 長峰山 NEWS

2年間通行止めになっていた大口沢から上る林道城山線がこの4月から通れるようになった。松本方面から長峰山へ行くときは10分以上短縮になる。そのため時間に余裕ができ、車の窓を開けてゆっくりと野鳥の声を聞き、あたりを見回しながら上ることができる。



芽吹き of 山肌



ウワミズザクラ



4月は活動が多く毎週のように長峰山に行ったのだが、この時期は1週間といわず山の様子が変わってくる。4月最終の活動日(28日)は、ソメイヨシノ、カスミザクラに代わってウワミズザクラの白い花が咲き出し、ズミやヤマブキ、地味ではあるがウリハダカエデなどの花が見られる。がなんととっても目をひくのはコナラの薄緑色の新芽である。この時期の山肌は微妙に違った緑のグラデーションが素晴らしいが、その中でもコナラは思わず手に取りたくなる柔らかさを感じる。同じコナラでも立地条件によって微妙な違いがあり、山肌を染めている緑の違いに反映されているようだ。

コナラの大木の下には幼木や少し大きくなり花を咲かせた木がたくさん生えていて、雄花と雌花を見る事ができた。



雄花

雌花



日の光を受け、銀色の花が咲いたようなコナラの若葉

山は四季折々違った様相を見せてくれるが、毎年この時期の山肌を見ながら、この緑のグラデーションをこのまま刺繍したり絨毯にできたら素晴らしいのにとと思う。



ズミ



ヤマブキ



グミの仲間



ウリハダカエデ

# ミニ自然観察会の お知らせ

この春(初夏)は何がみつけれられるかな……

**2024年第1回のミニ自然観察会 5月26日(日) 13時00分**  
**天平の森駐車場 集合 予約不要**

## 2024年4月・5月活動予定

	日	行 事	集 合 場 所	時 間
4月	2(火)	絆・蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30～
	9(火)	絆・蝶の森活動	天平の森駐車場	9:30～
	14(日)	通常総会	天平の森研修棟	9:30～
		森林整備活動	長峰山山頂草原	13:00～
	21(日)	樹木札作製	きより館館	13:00～
		矢ノ沢側溝ざらい	きより館	8:30～
28(日)	樹木札作製	きより館	13:00～	
5月	28(日)	絆・蝶の森活動(シカ柵設置)	天平の森駐車場	9:30～
	8(水)	第5回安曇野市松くい虫被害対策協議会	豊科公民館	10:00～
	12(日)	森林整備活動(瞑想の広場整備)	天平の森駐車場	9:30～
	13(月)	明科高校長峰山遠足事前授業	県立明科高等学校	14:00～
	14(火)	絆・蝶の森活動	天平の森駐車場	9:30～
	15(水)	JUON 森の楽校関係者打ち合わせ	天平の森駐車場	10:00～
		明科高校長峰山遠足下見	県立明科高等学校	13:00～
	21(火)	絆・蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30～
24(金)	明科高校長峰山遠足	きより館	未定	
26(日)	絆・蝶の森活動(シカ柵設置)	天平の森駐車場	9:30～	
	ミニ自然観察会	天平の森駐車場	13:00～	

上記は決定している活動予定ですが、その他の活動や天候などで中止になる場合は、各担当リーダーから倶楽部メールにて連絡が出ます。

### 会員を募集しています！

見学や入会の申し込みは、  
随時受け付け中です。  
お気軽にお問い合わせください。

◇会費 正会員 : 3,000 円  
賛助会員 : 4,000 円自

一緒によい汗ながしませんか？



### ■発行

特定非営利活動法人  
森倶楽部 2 1

■E-mail [npomoriclub21@gmail.com](mailto:npomoriclub21@gmail.com)

■URL <https://mori21.com/>

■<https://www.facebook.com/morikurabu21>